

米販売動向調査について（全米販）（令和4年6月分）

1. 回答数 65 会員

2. 調査結果概要

Q1：昨年6月と比べた令和4年6月（1か月）の米販売量

「やや増えた」の回答が最も多く、約3割を占めた。

Q3：3か月前（令和4年3月）と比べた販売動向

「やや良くなっている」、「良くなっている」の回答数が「やや悪くなっている」、「悪くなっている」の回答数をわずかに上回り、DI値は「51.2」。

Q5：3か月先（令和4年9月頃）の見通し

「変わらない」の回答が約4割あるものの、「やや良くなる」の回答数が「やや悪くなる」回答数を上回っており、DI値は「51.9」。

3. 集計結果

Q1：昨年6月と比べた令和4年6月（1か月）の米販売量

回答者数（会員）					
合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
65	10	19	8	14	14
100.0%	15.4%	29.2%	12.3%	21.5%	21.5%

Q3：3か月前（4年3月）と比べた販売動向

回答者数（会員）					
合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
65	6	21	13	20	5
100.0%	9.2%	32.3%	20.0%	30.8%	7.7%

DI値
51.2

(参考)	規模別	DI値	
	規模A	規模B	規模C
	59.1	52.2	47.6

Q5：3か月先（4年9月頃）の見通し

回答者数（会員）					
合計	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
65	1	22	25	15	2
100.0%	1.5%	33.8%	38.5%	23.1%	3.1%

DI値
51.9

(参考)	規模別	DI値	
	規模A	規模B	規模C
	52.3	53.3	50.8

※企業規模について

規模A：米穀の売上高が年間100億円以上、規模B：米穀の売上高が年間25億円以上～100億円未満

規模C：米穀の売上高が年間25億円未満

～主な回答理由～

Q1：現在（4年6月）の米販売量（前年同月との比較）

- 量販店用は低調に推移する一方、業務用は若干だが回復傾向。トータルでは低調。
- 卸間売買での玄米販売が好調で、全体を底上げた格好。
- 特に卸間売買での玄米販売が不調。（西日本）

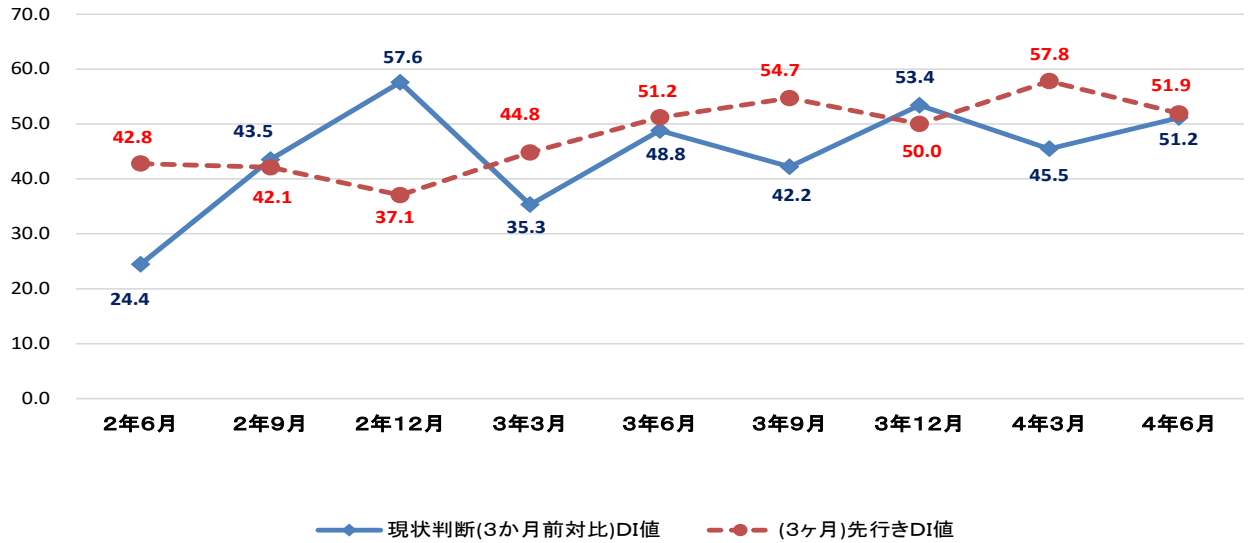
Q3：過去（3か月前）と現在の動き

- 量販店用は全体的に動きが悪くなっている。
- 年度末は例年数字が伸びるので、3月よりは落ち込んだ。
- 量販店向けは増量キャンペーンで販売は伸びたが、利益は取れていない。
- 量販店の動きは変わらないが、業務用は回復基調にある。

Q5：将来（3か月後）の動き

- 連休明け以降の外出関係の回復基調に期待。量販店の動きは新米価格次第。
- 業務用は古米を抱えているところが多いため、価格はさらに下がり、競争が激化すると考える。
- 4年産が出てくるので例年通り取引は活発になる。

【米販売動向調査（DI）の推移】



Q2：昨年6月と比べた令和4年6月（1か月）の米販売量

<仕向先別>	合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
(小売店向け)		%	%	%	%	%
大手スーパー	100%	9.1	18.2	27.3	20.5	25.0
中小スーパー	100%	6.9	13.8	34.5	27.6	17.2
米穀専門店	100%	3.5	12.3	26.3	31.6	26.3
その他	100%	16.3	18.4	28.6	18.4	18.4
(外食産業向け)						
外食向け	100%	8.8	45.6	26.3	14.0	5.3
中食向け	100%	6.6	26.2	49.2	14.8	3.3
給食向け	100%	0.0	8.2	80.3	6.6	4.9

Q4：3か月前（令和4年3月）と比べた販売動向

<仕向先別>	合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	DI指数
(小売店向け)		%	%	%	%	%	
大手スーパー	100%	6.8	15.9	43.2	29.5	4.5	47.7
中小スーパー	100%	1.7	24.1	39.7	29.3	5.2	47.0
米穀専門店	100%	0.0	12.3	49.1	24.6	14.0	39.9
その他	100%	4.1	14.3	51.0	12.2	18.4	43.4
(外食産業向け)							
外食向け	100%	3.5	38.6	45.6	8.8	3.5	57.5
中食向け	100%	3.2	33.9	46.8	12.9	3.2	55.2
給食向け	100%	0.0	9.8	80.3	9.8	0.0	50.0

Q6：3か月前（令和4年9月頃）の見通し

<仕向先別>	合計	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	DI指数
(小売店向け)		%	%	%	%	%	
大手スーパー	100%	0.0	24.4	53.3	20.0	2.2	50.0
中小スーパー	100%	0.0	25.9	43.1	27.6	3.4	47.8
米穀専門店	100%	0.0	15.5	46.6	31.0	6.9	42.7
その他	100%	0.0	28.6	53.1	10.2	8.2	50.5
(外食産業向け)							
外食向け	100%	1.8	42.9	39.3	16.1	0.0	57.6
中食向け	100%	1.6	37.1	50.0	11.3	0.0	57.3
給食向け	100%	0.0	19.7	72.1	8.2	0.0	52.9

*DI（diffusion index）の算出方法：内閣府で発表している「景気ウォッチャー調査」方式を採用した。具体的には、5つの回答選択肢に均等に0～1の評価点を与え、各回答の構成比に対応するそれぞれの評価点を乗じ、それらの合計を指数(%ポイント)としてDI値を算出。それが50の場合は横ばい(現状維持)を示す。0に近づくほど販売が低迷傾向にあることを示し、逆に100に近づくほど販売が好調傾向であることを示す。

(算出例)	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
評価点 A	1	0.75	0.5	0.25	0
結果(構成比) B	17.8	20.0	20.0	22.2	20
各DI値 C=A×B	17.8	15	10	5.6	0
DI値(合計)	48.4→米販売の動きはほんの少し低迷傾向				